A grayscale photograph of a modern, multi-story school building with a large glass facade and a clock tower. The ground is covered in snow, and a hillside is visible in the background. The text is overlaid in the center of the image.

春松小学校・幼稚園の有効活用について (検討案)

春松小学校・春松幼稚園の有効活用について



今後の羅臼町のまちづくりを進める中で、春松小学校・幼稚園の「空き施設」及び「グラウンド」は非常に重要な施設であり、春松地区の賑わいの拠点施設となるよう有効的な活用を目指す。

【活用の視点】

- ✓ 町民一人ひとりが快適に過ごせる健康・福祉の拠点
- ✓ 教育・文化活動の拠点
- ✓ 地域産業(漁業・観光・商工、飲食 等)の振興
- ✓ 町外の企業や事業主等が利用できるワーケーション施設
- ✓ 様々な分野からなる複合的施設
- ✓ 屋外公園
- ✓ イベント交流広場

案1: 羅臼高校の校舎＋公民館＋文化ホール

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・施設の改善、地域や社会教育との連携などによる高校の魅力化・子ども達がいることによる地域の賑わい・引き続き学校として活用することによる改修費用の低減	<ul style="list-style-type: none">・道立高校として存続できなくなった場合の財政負担・地域外の子どもが多数となった場合の住民理解

⇒高校魅力化などの取組を更に発展させ、①道立高校の維持、②地域外の子どもたちの魅力的な就職先の確保、に取り組む必要。

案2: アパート・宿泊施設＋公民館＋文化ホール＋屋内外遊具＋イベント広場

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none">・企業誘致、労働者確保、地域みらい留学等の推進に貢献・広い文化ホールや屋内外の遊び場の確保が可能	<ul style="list-style-type: none">・運営企業が見つからなければ実現困難・人口減少が進んだ場合には民間アパート等の経営を圧迫

⇒運営に興味を持つ企業とのコミュニケーションがまず必要。加えて、今後の企業誘致等の方策についても検討が必要。

春松小学校・幼稚園の有効活用について(案1)

文化ホール・公民館

- ・文化ホールの席は可動式としてスポーツ等の多目的な利用も可能に



高校の体育館・グラウンドとして活用



羅臼高校校舎（一部は公民館としても活用）

- ・町民と高校生の交流拠点とし、社会教育活動と高校教育の連携を図る
- ・図書室、家庭科室、音楽室、ミーティングルーム、展示スペースなどは町民やサークル活動、社会福祉協議会などへの開放も検討



春松小学校・幼稚園の有効活用について(案2)

屋内遊具・屋外遊具

- ・屋内遊戯施設、プレイルーム
- ・園庭には屋外遊具

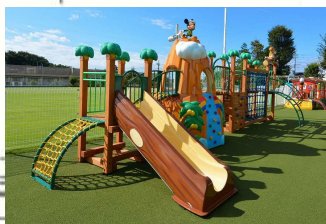
文化ホール

- ・文化ホールの席は可動式としてスポーツ等の多目的な利用も可能に



屋外遊具・イベント広場

- ・屋外遊具、スケートリンク
- ・駐車スペースや水道等を整備し、イベント広場として活用
- ・キッチンカースペース確保
- ・ドッグラン



単身者用アパート（公民館としても活用）

- ・アパートは単身者、外国人労働者や高校生を主な対象とし、国際交流の拠点、地域内外の交流拠点として整備。
- ・ドミトリーなどの宿泊施設としての活用も検討
- ・一般利用やサークル活動、社会福祉協議会などの利用も可能な共有スペース（ミーティングルーム、キッチン等）を整備
- ・アパートやカフェをはじめとした民間企業を誘致



スケジュール (案)



	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
羅臼小学校		春松小統合 ★	幼稚園統合 ★	
	幼稚園部分ほかの設計 →	幼稚園部分ほかの工事 →		
春松小学校 春松幼稚園	役場内部での検討 関係者へのヒアリング →	パブリックコメント (6~7月) → 意見交換会 (7月) →	方向性決定 ★	活用方針に応じた各種対応 (計画・設計・企業誘致等) →

【参考】ヒアリングでの主な意見



- ✓ グラウンドは駐車場と公園とし、遊具も設置できれば親子で利用するのではないか。小学校部分はサークル等が利用できる会議室などで、体育館は球技などで活用しては。幼稚園部分は外国人観光客むけの素泊まりの宿泊施設としてはどうか(町内会関係者)。
- ✓ 小学校部分については、インバウンド等をターゲットとした宿泊施設にしてはどうか。併せて、屋内で子どもたちが遊べるようなスペースや飲食・アクティビティのテナントがあると良い(地域おこし協力隊)。
- ✓ 小学校部分は、高校生の寮を併設してはどうか(社会教育関係者)。
- ✓ 公民館と高校を併設することで、地域と高校の様々な交流が生まれ、魅力化に繋がる(社会教育関係者)。
- ✓ 町内でスポーツ少年団が活用できる体育館が限られており、引き続き使えるようにして欲しい(社会教育関係者)。
- ✓ ホールについて、団体や人口が減少傾向にあることもあり、小ホールの方が使い勝手が良い(社会教育関係者)。
- ✓ サークル活動は弱体化しているが、活動場所がないというのがネックになっている。やはり活動場所は必要。特に荷物が置いて集まれる場所が必要(社会教育関係者)。
- ✓ アパート兼宿泊施設に飲食店等を組み合わせた複合施設について、関連企業を巻き込んで管理運営できる可能性はある。他地域でも事例はあるようだ。飲食店については、地域への配食なども含めて対応できるようにすれば、収益性が向上する(民間企業)。
- ✓ 宿泊施設や飲食施設が少ないのが町の課題であり、それらの解決に寄与する方向性を期待したい。大型の宿泊施設があれば更に羅臼町での滞在時間を増やすことができる。一方で、高校移転の必要性についても理解できる(商工関係者)。
- ✓ 羅臼町内では宿泊施設が少ないことが課題であり、修学旅行をはじめとした団体が活用しやすい施設があると良い。また、アパート等が不足しているという点については同感(観光関係者)。
- ✓ 学校施設は学校として活用し、社会教育的施設と併設することで町民と高校生のつながりが図られる。小学校部分を高校にすることで生徒と町民の関わりが強くなり、高校も地域も活性化される(教育関係者)。
- ✓ 現羅臼高校の校舎は老朽化が進んでいるため高校の魅力が半減すると思われる。小学校部分を活用した方が魅力的な高校になるのではないか(教育関係者)。

【参考】 羅臼幼稚園の有効活用について



○子育て・教育施設の集約化

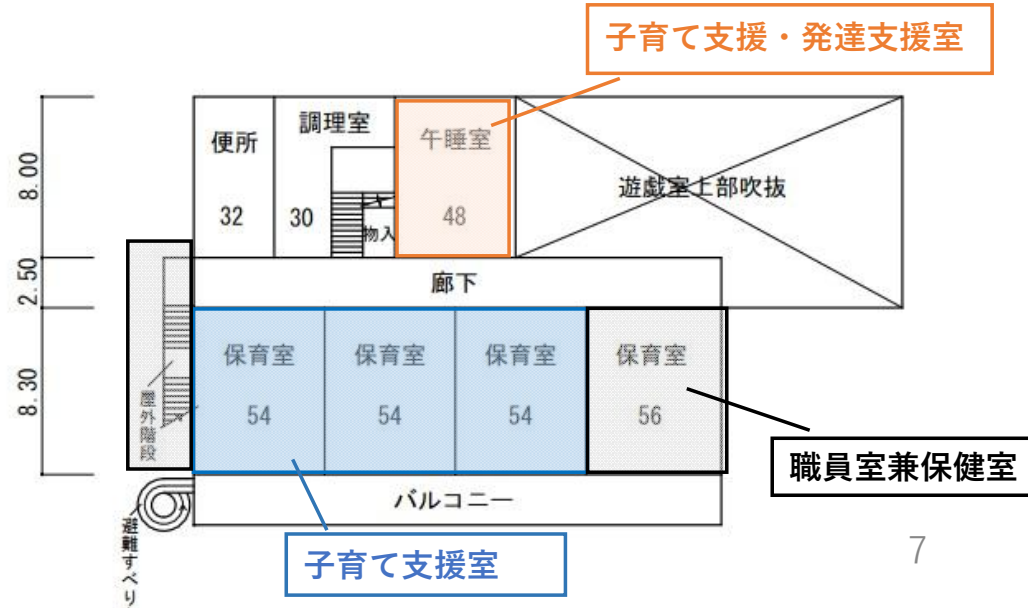
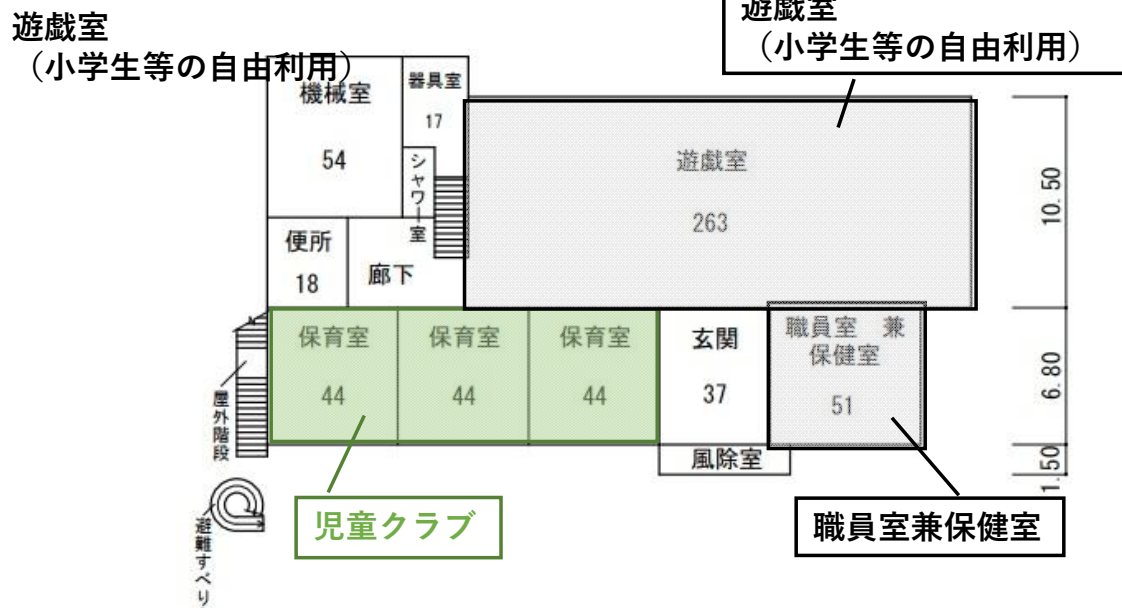
児童クラブや子育て支援センター、発達支援センターなどとして活用することにより、幼小中高一貫教育と子ども・子育て支援施策との連携強化、児童クラブと子育て支援・発達支援との多職種連携の強化を図り、魅力的な子育て・教育環境を整備する。

○コンパクトシティ

子育て施設を役場、診療所、体育館等がある市街地に集約することにより、希望者が利用しやすい環境を整備する。

○放課後活動の充実

羅臼幼稚園園舎を子ども・子育て支援の拠点とし、児童クラブに登録していない子ども達も含めて、放課後活動の充実を図る。



【参考】 羅臼町の将来人口推計



- ✓ 羅臼町の将来人口推計によると、2045年には人口2,414人と推計されている
- ✓ 年少人口（0～14歳）は特に減少が著しく、約72%減（2020年比）の142人
- ✓ 生産年齢人口（15～64歳）も大きく減少し、約62%減（2020年比）の1029人
- ✓ 老年人口（65歳～）は小幅な減少にとどまり、約16%減（2020年比）の1243人

